

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附 属 機 関 等 の 名 称	みよし市環境審議会
開 催 日 時	平成28年12月5日(月曜日) 午前11時～11時45分
開 催 場 所	6階 601・602会議室
出 席 者	会長・議長：杉山八千代 委 員：加藤芳邦、山田隆夫、山田裕一、鈴木文生 説 明 職 員：柘植区画整理専門監、野々山企画政策課長、 岡田長寿介護課長、加藤緑と花のセンター所長、 柴田都市計画課長、廣瀬学校給食センター所長、 近藤下水道課副主幹、浜田生涯学習推進課副主幹、 酒井産業課主任主査 事 務 局：廣戸環境経済部部長、山田環境経済部次長、深津環境課長、 瀧元環境課主任主査
次 回 開 催 予 定 日	未定
問 合 せ 先	環境経済部 環境課 担当 瀧元 電話0561-32-8018
審 議 経 過	次 第 (1) あいさつ (2) 議事 ・環境基本計画の中間見直しについて 議事要旨 別紙議事録のとおり

みよし市環境審議会(第2回) 会 議 録

1. 日 時：平成28年12月 5日(月曜日) 午前11時～11時40分

2. 場 所：市役所 6階 601・602会議室

3. 出席者：

【出席委員】

会長・議長：杉山 八千代（みよし市環境美化推進協議会会長、愛知県地域環境保全推進委員）

委 員：加藤 芳邦（みよし市校長会代表）

山田 隆夫（みよし市区長会会長）

山田 裕一（トヨタ自動車(株)プラント・環境生技部 生産環境室長）

鈴木 文生（JA あいち豊田総務部参与）

以上5名

【欠席委員】

副 会 長：功刀 由紀子（愛知大学教授）

委 員：佐藤 朝生（みよし商工会副会長）

委 員：村上 雅則（みよし市工業経済会会長）

委 員：可児 晃（トヨタ生活協同組合総務人事部 主査）

委 員：宮崎 隆（イオンリテール㈱イオン三好店 人事総務課長）

以上5名

【説明員】

柘植区画整理専門監、野々山企画政策課長、岡田長寿介護課長、加藤緑と花のセンター所長、
柴田都市計画課長、廣瀬学校給食センター所長、近藤下水道課副主幹、
渋田生涯学習推進課副主幹、酒井産業課主任主査

以上9名

【事務局】

廣戸環境経済部部長 山田環境経済部次長 深津環境課長 瀧元環境課主任主査

【傍聴者】

なし

4. 次 第

(1) あいさつ

(2) 議事

・環境基本計画の中間見直しについて

5. 議事要旨

【議長】

「環境基本計画の中間見直しについて」事務局より説明をお願いします。

【事務局】

「環境基本計画の中間見直しについて」資料1に基づき説明。

【議長】

只今、「環境基本計画の中間見直しについて」説明がありました。ご質問、ご意見がございましたら、順次ご発言ください。

【加藤委員】

資料1 ページ中に「近隣の自治体と連携」との記述がありますが、本市において近隣の自治体とは具体的にどこを指すのか。

【事務局】

西三河地区となりますが、具体的には二酸化炭素の削減や気候変動などへの適応などについて連携して取組む首長誓約に共同で署名した岡崎市、豊田市、安城市、知立市を想定しています。

【山田(裕)委員】

2 ページの市民一人当たりの二酸化炭素の年間排出量に係る数値目標が掲げられており、それぞれ取組みの方向性に基づき活動を展開されていくと思いますが、平成32年の目標に向けて実施する活動に対しての削減量など、取組みの紐付けはありますか。

【事務局】

目標については政府が掲げる数値目標に即して設定をしており、各種補助事業による削減量の積上げや西三河5市による連携の中で、現在地球温暖化防止に向けた国民運動「COOL CHOICE」への賛同に向けた啓発活動を先行して本年度より始めるとともに、家庭部門における温室効果ガス削減に向けた連携事業を洗い出し本年度中にアクションプランとしてまとめる作業を行っております。なお、委員ご指摘の活動に対する個々の削減量についてお示しすることはできませんが、今後の首長誓約に伴うアクションプランの中で、温室効果ガス削減量等について詰めていくことになるのかと考えておりますのでよろしくお願いします。

【鈴木委員】

2 ページの数値目標について数値が大きく変わった点についてより詳しい説明と、平成27年度の実績欄が未記入となっている理由の説明をお願いします。

【事務局】

まず、平成27年度の実績が未記入となっている点についてですが、二酸化炭素排出量を算定については、経済産業省などの各種統計資料を用いて製造、運輸、家庭部門におけるそれぞれの排出量を算定し積上げることで算定することになります。その際、公表されている統計の直近のデータが平成25年度のものであるためであります。また、目標数値の変更につきましては、この計画を策定する際採用した出店もとのデータでは各年度の排出量の掲載がなかったことから、今回環境省が毎年度公表する市町村ごとの二酸化炭素排出量の数値を採用したためであります。なお、平成32年度の目標については、平成17年度における二酸化炭素総排出量を政府の目標であります3.8%削減し、その数値を人口推計で割り返した14.6t-CO₂を今回掲載したものであります。

【山田(裕)委員】

二酸化炭素排出量における平成32年度の目標が見直されていますが、平成27年度における目標について平成32年度の目標のように見直しをすると数値はいくつになりますか。また、目標数値は人口推計から割り返したとの説明がありましたが、この数値は市で公表されている統計とリンクしているのか。

【事務局】

目標数値について人口統計にリンクしているかという点については、リンクしております。なお、平成27年度の数値(実績)については、現在算定に必要な直近の公表データが平成25年度でありますので算定はできておりません。

(参考) 目標については、平成17年度の排出量から算定すると15.1t-CO2になります。

【議長】

他にご意見等はございませんか

－ 意見等はなし －

【議長】

他にご意見等もありませんので、環境基本計画の中間見直しについては、原案のとおりとすることに賛成の委員の皆さまは、恐れ入りますが挙手をお願いします。

－ 全員賛成 －

【議長】

ありがとうございました。全員賛成ですので、環境基本計画の中間見直し案は、原案のとおり見直しすることを市長に報告することとします。以上で本審議会に提案された議題は以上ですので、事務局にお返しします。

【事務局】

礼の交換をします。一同礼。ありがとうございました。